



2025年5月

前期図書委員会の活動が始まりました。

今年のスローガンは「☆千客万来☆～^{せんきやくばんらい}赤青緑^{みん}が来たいと思える図書館に～」です！
図書館で困ったことや分からないことがあれば図書委員に聞いてください、優しく教えてくれるはずですよ。

委員会では、川通中学校のみんなが図書館に来たくなるようなイベントをただ今企画中です。
楽しみにしていてください。

913
ア

☆図書館だよりの
「913 ア」や「289
ト」など数字3桁とカ
ナは、合わせて「請求
記号」といいます。本
の背ラベルについてお
り、図書館の本の住所
のようなものです。

図書館で「読売中高生新聞」、「埼玉新聞」が読めます



新聞を読むと、「ニュースがよく分かる、考えるきっかけになる、読む力がつく」と言われています。ニュースばかりでなく、エンタメ情報や身近な地域でどんな催しをやっているのかを知ることができます。図書館前の廊下に岩槻の話題が載っている新聞記事を掲示しています、ぜひ見てください。高校受験対策にもなるので、手に取ってみませんか。

青少年読書感想文コンクール課題図書を紹介

「スラムに水は流れない」ヴァルシャ・バジヤージ著, 村上 利佳訳
あすなろ書房
「933 バ」



「わたしは食べるのが下手」天川栄人作
小峰書店 「913 ア」



「鳥居きみ子 家族とフィールドワークを進めた人類学者」竹内紘子著
くもん出版「289 ト」



新しくいった本

「保健室には魔女が必要」 石川宏千花作 偕成社 「913 イ」 	「僕は上手にしゃべれない」 椎野直弥著 ポプラ社 「913 シ」 	「放課後によむ詩集」 小池昌代編 理論社 「908 ホ」 
「もし、自分が平凡だと感じたら」 日本児童文学者協会編 偕成社 「913 モ」 	「本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む」 かまと、みくのしん著 大和書房 「019 カ」 	「成瀬は信じた道をいく」 宮島未奈著 新潮社 「913 ミ」 
「見つける数学」 大野寛武著 東京書籍 「420 オ」 	「近畿地方のある場所について」 背筋著 KADOKAWA 「913 セ」 	「ひみつの相関図ノート」 日本児童文芸家協会編 ポプラ社 「913 ヒ」 



「本屋大賞」が決定しました

本屋大賞は、全国の書店員が実際に読んで面白いと思った本に投票して決めている賞です。今年が22回目の開催になります。

2025年の大賞は「カフネ」（阿部暁子著 「913 ア」）です。

あらすじ…法務局に勤める野宮薫子は、溺愛していた弟が急死して悲嘆に暮れていた。弟の元恋人・小野寺せつなに会い、彼女が勤める家事代行サービス会社「カフネ」の活動を手伝うことに……。

